

礼拝メッセージフィードバック

＜今日の聖書箇所は…＞

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ①祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様をあげます。
- ②互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ディボーションの分かち合いをします。
- ④セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ①この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ②この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④互いの必要のために祈りましょう。

ディーゴ ガイド



2025.11.24-30

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ①お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ②1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディボーションの分かち合い（なるべく短く）
- ④預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

8:16 アイにいた兵はみな彼らの後を追うために呼び集められ、ヨシュアを追撃し、町から誘い出された。

8:17 そのため、イスラエルの後を追って出なかった者は、アイとベテルに一人もいなかった。彼らは町を開け放しのまま捨てておいて、イスラエルを追撃した。

8:18 【主】はヨシュアに告げられた。「あなたの手にある投げ槍をアイの方に伸ばせ。わたしがアイをあなたの手に渡すから。」ヨシュアは手にある投げ槍を町の方に伸ばした。

8:19 すると、伏兵はすぐその場所から立ち上がった。ヨシュアが手を伸ばすやいなや彼らは走り、町に入ってそれを攻め取り、ただちに町に火を放った。

8:20 アイの人々はうしろを振り返って見た。すると、町の煙が天に立ち上っていて、彼らには、どちらにも逃げる手立てがなかった。荒野へ逃げていたイスラエルの兵は、追って来た者たちの方に向き直った。

8:21 ヨシュアと全イスラエルは、伏兵が町を攻め取り、町の煙が立ち上るのを見たので、引き返してアイの人々を討った。

8:22 伏兵たちは町から出て来て彼らに向かった。そのため彼らは両側からイスラエルの挟み撃ちにあった。ヨシュアたちは、彼らを打ち殺し、生き残った者も、逃れた者も一人も残されないまでにした。

8:23 しかし、アイの王は生け捕りにして、ヨシュアのもとに連れて来た。

今やアカンの罪がぬぐわれ、ヨシュアは神の民として約束を得て戦いますが、それでも三万人という兵力で、しかも周到な準備と策をもってこれにあ

りました。私たちも主のみこころを行うときは、全力でまた最善の準備でこれに当たりましょう。全力の努力は、その主の闘いがいかに価値があるかを表します。

アイの人々は前に大勝利を取めたので、今度も勝てると思い込み深追いつてきました。ここにも神の民の勝利の秘訣があります。

私たちは見かけは変わっていないようでも、信仰によって前とは全く違ったものされることができます。見えるものや自分の力に頼らない信仰者の強みはそこにあります。主に従い、主の栄光が表されるように、信仰を持って全力でチャレンジしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25日 火曜

ヨシュア



8:24 イスラエルがアイのすべての住民を野で、すなわち彼らが追って来た荒野で殺したとき、アイの住民はみな一人残らず剣の刃に倒れた。全イスラエルはアイに引き返し、町を剣の刃で討った。

8:25 その日、倒れた者は男女合わせて一万二千人、アイのすべての人々であった。

8:26 ヨシュアはアイの住民をことごとく聖絶するまで、投げ槍を差し出した手をもとに戻さなかった。

8:27 イスラエルは【主】がヨシュアに命じられたことばのとおり、その町の家畜と分捕り物だけを自分たちの戦利品とした。

8:28 ヨシュアはアイを焼き、永久に荒れ果てた丘とした。今日もそうである。

8:29 さらに、ヨシュアはアイの王をタ方まで木にかけてさらし、日の入るころ人々に命じた。それで彼らはその死体を木から降ろし、町の門の入り口に投げ捨て、その上に大きな石塚を積み上げた。今日もそうである。

8:30 それからヨシュアはエバル山に、イスラエルの神、【主】のために一つの祭壇を築いた。

8:31 それは、【主】のしもべモーセがイスラエルの子らに命じたとおり、またモーセの律法の書に記されているとおり、鉄の道具を当てない自然のままの石の祭壇であった。彼らはその上で【主】に全焼のささげ物を献げ、交わりのいけにえを献げた。

8:32 ヨシュアはその場所で、モーセがイスラエルの子らの前で書いた律法の写しを、石の上に書いた。

8:33 全イスラエル、その長老たち、つかさた

ち、さばき人たちは、寄留者もこの地で生まれた者も同様に、【主】の契約の箱を担ぐレビ人の祭司たちの前で、箱のこちら側と向こう側とに分かれ、半分はゲリジム山の前に、もう半分はエバル山の前に立った。それは【主】のしもべモーセが以前命じたように、イスラエルの民を祝福するためであった。

8:34 その後、ヨシュアは、みおしえの書に記されているとおりに、律法のすべてのことばを、祝福ものろいも読み上げた。

8:35 モーセが命じたすべてのことばの中で、ヨシュアが、イスラエルの集会全体、および女と子どもたち、および彼らの間で生活する寄留者の前で読み上げなかったことばは、一つもなかった。

もしもイスラエルがアイの人々を残していたら、彼らとの結婚などによって、神様への信仰を捨ててしまうでしょう。主はそのようなことのないように、彼らを根絶やしにすることを命じられました。またそれは神に敵対するものへのさばきの厳しさを表します。新約時代に生きるの私たちにとっては、さばきと滅びについての認識が与えられますし、またそこから救われたことのあわれみを理解することができます。

このように私たちは、情にかられたり利益に左右されたりして、主のみこころに反するものを残すことのないようにしなければなりません。情や人間の判断よりも主への従いが優先されるのです。それが全能の神を信じるということです。

ヨシュアは祭壇を築き（それも人間の小細工のない自然の石によって、主にお任せすることによって）、主を第一にしました。また律法の書によって、主への服従を表しました。戦いに勝つこと、この世の成功者となることよりも、主に従い主からの祝福を受けることが、何よりも素晴らしい

ことです。また何よりも安心なことなのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



26日 水曜

ヨシュア



9:1 さて、ヨルダン川の西側の山地、シェフェラ、レバノンに至る大海の全沿岸のヒッタイト人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、エブス人の王たちはみな、これを聞くと、

9:2 ともに集まり、一つになってヨシュアおよびイスラエルと戦おうとした。

9:3 ギブオンに住民たちは、ヨシュアがエリコとアイに対して行ったことを聞くと、

9:4 彼らもまた策略をめぐらし、変装をした。古びた袋と、古びて破れて継ぎ当てをしたぶどう酒の皮袋をろばに負わせ、

9:5 繕った古い履き物を足にはき、古びた上着を身に着けた。彼らの食糧のパンはみな乾いて、ぼろぼろになっていた。

9:6 彼らはギルガルの陣営のヨシュアのところに来て、彼とイスラエルの人々に言った。「私たちは遠い国から参りました。ですから今、私たちと盟約を結んでください。」

9:7 イスラエルの子らはそのヒビ人たちに言った。「おそらく、あなたがたは、私たちのただ中に住んでいるのだらう。どうして私たちがあなたがたと盟約を結べるのだろうか。」

9:8 彼らはヨシュアに言った。「私たちは、あなたのしもべです。」ヨシュアは彼らに言った。「あなたがたは何者か。どこから来たのか。」

9:9 彼らは彼に言った。「しもべどもは、あなたの神、【主】の名のゆえにとても遠い国から参りました。主のうわさ、および主がエジプトで行われたすべてのこと、

9:10 主がヨルダンの川向こうのアモリ人の

二人の王、ヘシュボンの王シホン、およびアシュタロテにいたバシャンの王オグになさった、すべてのことを聞いたからです。

9:11 私たちの長老や、私たちの国の住民はみな私たちに言いました。『旅のための食糧を手にして彼らに会いに出かけなさい。そして彼らに、「私たちは、あなたがたのしもべです。今、どうか私たちと盟約を結んでください」と言いなさい。』

9:12 これが私たちのパンです。私たちがあなたがたのところに来ようと出た日、それぞれ自分の家で食糧として準備したときには、まだ温かったのですが、今はご覧のとおり、干からびて、ぼろぼろになってしまいました。

9:13 これがぶどう酒の皮袋です。私たちがこれらを満たしたときには新しかったのですが、ご覧のとおり破れてしまいました。これが私たちの上着と私たちの履き物です。とても長い旅のため古びてしまいました。」

9:14 そこで人々は彼らの食糧の一部を受け取った。しかし、【主】の指示を求めなかった。

9:15 ヨシュアは彼らと和を講じ、彼らを生かしておく盟約を結んだ。会衆の上に立つ族長たちは彼らに誓った。

ギブオンの住民もまた神に逆らう民であり、イスラエルに悪影響を及ぼさないために、聖絶の対象でしたが、彼らは他の民とは違い講和を求めました。そこには嘘がありそれ自体は罪でありましたが、そこに主のあわれみがあったのかもしれません。彼らは命を保つことができました。

問題はイスラエルの態度であって、彼らは主にこの件について祈り求めることをしませんでした。

そこでギブオンの民にだまされてしまったのです。イスラエルの判断はギブオン人の古くなった持ち物によるものでした。人間的な判断よりも、何よりもまず主に祈りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



27日 木曜

ヨシュア



9:16 彼らと盟約を結んでから三日たったとき、人々は彼らが近くの者たちで、自分たちのただ中に住んでいるということを聞いた。

9:17 そこでイスラエルの子らは出発し、三日目に彼らの町々に着いた。彼らの町々とはギブオン、ケフィラ、ペエロテ、およびキルヤテ・エアリムであった。

9:18 イスラエルの子らは彼らを討たなかった。会衆の上に立つ族長たちがイスラエルの神、【主】にかけて彼らに誓ったからである。しかし、全会衆は族長たちに向かって不平を言った。

9:19 族長たちはみな全会衆に言った。「私たちはイスラエルの神、【主】にかけて彼らに誓った。だから今、私たちは彼らに触れることはできない。

9:20 私たちは彼らにこうしよう。彼らを生かしておこう。そうすれば、私たちが彼らに誓った誓いのために、御怒りが私たちの上に下ることはないだろう。」

9:21 族長たちは全会衆に言った。「彼らを生かしておこう。」彼らは全会衆のために薪を割る者、水を汲む者となった。族長たちが彼らについて言ったとおりである。

9:22 ヨシュアは彼ら呼び寄せて、彼らに言った。「あなたがたは私たちのただ中に住んでいながら、なぜ、『私たちは、あなたがたからとても遠いところの者です』と言って私たちを欺いたのか。

9:23 今、あなたがたはのろわれる。あなたがたの中から、奴隷たち、私の神の家のために薪を割る者と水を汲む者が絶えることはない。」

9:24 彼らはヨシュアに答えた。「しもべどもは、はっきり知らされました。あなたの神、【主】がこの全土をあなたがたに与え、その地の全住民をあなたがたの前から根絶やしにするように、しもべモーセにお命じになったことを。それで私たちは、自分のいのちのことであなたがたを非常に恐れ、このようなことをしたのです。

9:25 ご覧ください。今、私たちはあなたの手の中にあります。あなたのお気に召すように、お目にかなうように私たちを扱ってください。」

9:26 ヨシュアは彼らが言うようにし、彼らをイスラエルの子らの手から救った。それで彼らは殺されなかった。

9:27 ヨシュアはその日、彼らを会衆のため、また【主】の祭壇のため、主が選ばれる場所で薪を割る者と水を汲む者とし、今日に至っている。

主はギブオンの民をあわれんで、イスラエルの住民とし、祭壇の働きの果てには神殿の高い地位につくことを許されました。主は憐れみを求める者には恵み深いお方です。

しかしヨシュアたちが、主に祈って聞かなかったことは間違いでした。彼らがいることで、「全会衆は族長たちに向かって不平を」表し、ギブオン人を生かすことと主の命令にそむくこと、しかし主に誓ってしまったことで、イスラエルは悩みを抱えてしまったのです。

最後は主のあわれみに頼るとしても、まずは主に祈ってみこころを聞きましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



28日 金曜

ヨシュア



10:1 エルサレムの王アドニ・ツェデクは、ヨシュアがアイを攻め取って、それを聖絶し、エリコとその王にしたようにアイとその王にもしたこと、またギブオンの住民がイスラエルと和を講じて、彼らのただ中にいることを聞いた。

10:2 彼とその民は非常に恐れた。ギブオンが王国の都の一つのように大きな町であり、またアイよりも大きく、そこの人々がみな勇士だったからである。

10:3 エルサレムの王アドニ・ツェデクはヘブロン王ホハム、ヤルムテ王ピルアム、ラキシウ王ヤフィア、エグロンの王デビルに人を遣わして言った。

10:4 「私のところに上って来て、私を助けてください。ギブオンを討ちましょう。ギブオンがヨシュア、およびイスラエルの子らと和を講じたからです。」

10:5 それでアモリ人の五人の王、すなわち、エルサレムの王、ヘブロン王、ヤルムテ王、ラキシウ王、エグロン王、彼らとその全陣営は集結し、上って行ってギブオンに向かって陣を敷き、戦いを挑んだ。

10:6 ギブオンの人々はヨシュアのところ、ギルガルの陣営に人を遣わして言った。「しもべどもから手を引かないで、急いで私たちのところに上って来て、私たちを救い、助けてください。山地に住むアモリ人の王たちがみな、私たちに向かって集まっているのです。」

10:7 ヨシュアはすべての戦う民たちとすべての勇士たちとともに、ギルガルから上って行った。

10:8 【主】はヨシュアに告げられた。「彼らを恐れてはならない。わたしが彼らをあなたの手に渡したからだ。あなたの前に立ちはだかる者は彼らの中に一人としていない。」

10:9 ヨシュアは夜通しギルガルから上って行って、突然彼らを襲った。

10:10 【主】は彼らをイスラエルの前でかき乱された。イスラエルはギブオンで彼らを激しく討ち、ベテ・ホロンの上り坂を通して彼らを追い、アゼカとマケダに至るまで彼らを討った。

10:11 彼らがイスラエルの前から逃げて、ベテ・ホロンの下り坂にいたとき、【主】が天から彼らの上に、大きな石をアゼカに至るまで降らせられたので、彼らは死んだ。イスラエルの子らが剣で殺した者よりも、雹の石で死んだ者のほうが多かった。

10:12 【主】がアモリ人をイスラエルの子らに渡されたその日、ヨシュアは【主】に語り、イスラエルの見ている前で言った。

「太陽よ、ギブオンの上で動くな。月よ、アヤロンの谷で。」

10:13 民がその敵に復讐するまで、太陽は動かず、月はとどまった。これは『ヤシャルの書』に確かに記されている。太陽は天の中間にとどまって、まる一日ほど、急いで沈むことはなかった。

10:14 【主】が人の声を聞き入れられたこのような日は、前にも後にもなかった。
【主】がイスラエルのために戦われたからである。

主に聞かないで和睦を結んでしまったギブオンでしたが、主はそれさえも益にしてくださり、イ

スラエルに領地拡大の機会としてくださいました。主の全能の御手に期待しましょう。

ギブオンは主の民に加わったことで、攻撃されましたが、現代でもクリスチャンになったことで攻撃されることもあるでしょう。そのようなときも主は、しっかりと守ってくださいます。主の全能を常に信じましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



29日 土曜

ヨシュア



10:15 ヨシュアは全イスラエルとともにギルガルの陣営に戻った。

10:16 これらの五人の王たちは逃げ、マケダの洞穴に隠れた。

10:17 すると、マケダの洞穴に隠れている五人の王たちが見つかったという知らせがヨシュアに入った。

10:18 ヨシュアは言った。「洞穴の口に大きな石を転がし、そのそばに人を置いて彼らを見張りなさい。

10:19 しかし、あなたがたは、そこにとどまってはならない。敵の後を追ひ、彼らのしんがりを攻撃しなさい。彼らを自分の町に逃げ込ませてはならない。あなたがたの神、【主】が彼らをあなたがたの手に渡されたからだ。」

10:20 ヨシュアとイスラエルの子らが非常に激しく彼らを討ち、ついに彼らが一掃されるまで攻撃し終わったとき、彼らのうちの生き残った者たちは城壁のある町々に逃げ込んだ。

10:21 兵はみな無事にマケダの陣営のヨシュアのもとに戻った。イスラエルの子らをのしる者は一人もいなかった。

10:22 ヨシュアは言った。「洞穴の口を開き、あの五人の王たちを、その洞穴から私のもとに引き出して来なさい。」

10:23 彼らはそのとおりにした。その五人の王たち、すなわち、エルサレムの王、ヘブロン王、ヤルムテ王、ラキシユ王、エグロン王を洞穴から彼のもとに引き出して来た。

10:24 彼らがその王たちをヨシュアのもとに引き出したとき、ヨシュアはイスラエルのす

べての人を呼び寄せ、自分と一緒にいった戦士の指揮官たちに言った。「近寄って、この王たちの首を踏みつけなさい。」彼らは近寄り、王たちの首を踏みつけた。

10:25 ヨシュアは彼らに言った。「恐れてはならない。おののいてはならない。強くあれ。雄々しくあれ。あなたがたの戦うすべての敵に【主】がこのようにされる。」

10:26 その後、ヨシュアは王たちを討って殺し、五本の木にかけ、夕方まで木にかけておいた。

10:27 日の入るころになって、ヨシュアは命じて彼らを木から降ろし、彼らが隠れていた洞穴の中に投げ込んだ。その洞穴の口には大きな石が置かれ、今日に至っている。

10:28 その日、ヨシュアはマケダを攻め取り、この町とその王を剣の刃で討った。彼らとそこにいたすべての者を聖絶し、一人も残さなかった。彼はエリコ王にしたようにマケダ王にした。

主の大いなる御計画を進めていくにあたって、私たちは徹底して主のみこころを行う必要があります。主の勝利にいい加減やそこそこということはありません。自分の判断で、失っては惜しいからと思って、適当に残すものがあつては将来に悪影響を及ぼすことが多いのです。

イスラエルが、これらの王たちを残しておいたほうが益になるという考えもできるでしょうが、それは後に彼らの異教が入り込むことになるのです。人情や損得勘定も必要と思えるときがあつても、まず主への信仰の純粋さを第一に果たしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあつて何を実践しますか？



10:29 ヨシュアは全イスラエルとともにマケダからリブナに進み、リブナと戦った。
10:30 【主】は、この町もその王もイスラエルの手に渡された。それで彼は、その町とそこにいたすべての者を剣の刃で討ち、そこにも一人も残さなかった。彼はエリコの王にしたようにその王にした。
10:31 ヨシュアは、全イスラエルとともにリブナからラキシユに進み、これに向かって陣を敷き、ラキシユと戦った。
10:32 【主】はラキシユをイスラエルの手に渡された。ヨシュアは二日目にそれを攻め取り、その町と、そこにいたすべての者を剣の刃で討った。すべて彼がリブナにしたとおりであった。
10:33 そのとき、ゲゼルの王ホラムがラキシユを助けようとして上って来た。ヨシュアは、ホラムとその民を一人も残さず討った。
10:34 ヨシュアは、全イスラエルとともにラキシユからエグロンに進んだ。彼らは、それに向かって陣を敷き、それと戦い、
10:35 その日に、エグロンを攻め取り、剣の刃で討った。そしてその日、そこにいたすべての者を聖絶した。すべて彼がラキシユにしたとおりであった。
10:36 ヨシュアは、全イスラエルとともにエグロンからヘブロンに上った。彼らはそれと戦い、
10:37 それを攻め取り、ヘブロンとその王、およびそのすべての町、そこにいたすべての者を剣の刃で討ち、一人も残さなかった。すべて彼がエグロンにしたとおりであった。彼はその町と、そこにいたすべての者を聖絶し

た。
10:38 ヨシュアは全イスラエルとともにデビルに引き返し、これと戦い、
10:39 それとその王、およびそのすべての町を攻め取り、剣の刃で彼らを討った。そして、そこにいたすべての者を聖絶し、一人も残さなかった。彼がデビルとその王にしたことはヘブロンにしたとおりであり、またリブナとその王にしたとおりであった。
10:40 ヨシュアはその全地、すなわち、山地、ネゲブ、シェフェラ、傾斜地、そのすべての王たちを討ち、一人も残さなかった。息のある者はみな聖絶した。イスラエルの神、【主】が命じられたとおりであった。
10:41 ヨシュアはカデシュ・バルネアからガザまで、および、ゴシェンの全土をギブオンに至るまで討った。
10:42 これらすべての王たちと彼らの地を、ヨシュアは一度に攻め取った。イスラエルの神、【主】がイスラエルのために戦われたからである。
10:43 ヨシュアは全イスラエルとともにギルガルの陣営に戻った。

ヨシュアとイスラエル軍はさらに多くの敵を撃破し、主からの約束の地を手に入れていきました。まさに連戦連勝でしたが、これは単にチャンスだから頑張ったというのとは違います。
人間の判断でチャンスを生かそうと主に聞かずに行動したのではなく、「彼らを恐れてはならない。わたしが彼らをあなたの手に渡したからだ。」という主のみことばをいただき、「彼らのうち、ひとりとしてあなたの前に立ち向かうことのできる者はいない。」と主から励まされ、ヨシュアたちは「イスラエルの神、主が命じられたとおり」すべて従順に行ったのです。
ですから「イスラエルの神、主が、イスラエル

のために戦」ってくださったのです。このようにし主の戦いを戦いましょう。そして勝利を得ましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

